

白神の絆

令和6年9月19日発行

No. 216 (9月号)

アケボノシュスラン



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

第2回森林教室の参加者募集について

開催日：令和6年10月19日（土）

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村
暗門溪谷

※道路状況・天候等により、
内容を変更する場合があります。

募集定員：15名

（応募多数の場合は抽選）

【開催最少人数8名に満たない場合は、中止
とさせていただきます】

参加費：700円

（傷害保険料・駐車場料金）

【参加人数によって変更となる場合があります。

詳細は、参加者へ発送する開催要項でお知らせいたします。】

その他：昼食・雨具（雨合羽を推奨）を持参。

募集期間：9月24日（火）～10月4日（金）まで

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

応募方法：メール・電話・封書にてお申込みください。

※詳細につきましては、ホームページ又はチラシをご確認ください。

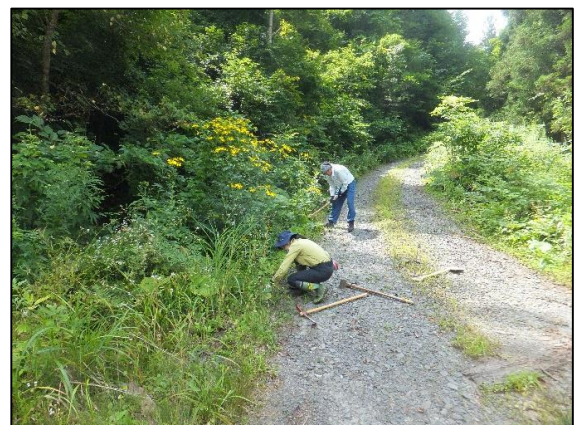


ブナ林散策道にて

オオハンゴンソウ防除作業を行いました

令和6年8月7日、環境省 西目屋自然保護官事務所2名と当センターから3名で昨年に引き続き岩崎西目屋弘前線の白神山地の緩衝地域に近い箇所に咲いているオオハンゴンソウ防除作業を行いました。

オオハンゴンソウは黄色い花が咲きその後、種を飛ばすため、花が散る前に駆除する必要があり、また無理矢理引き抜くと根が残りそこから再生するとのことです。



掘り起こし作業中

そのためクワとスコップ、ツルハシを使い慎重に掘り起こしました。

しかし、根は広く浅く張るためオオハンゴンソウ同士の根が絡まり、また砂利と暑さのため作業時間1時間にも係わらず、皆汗だくとなった作業となりました。

この汗のお陰でオオハンゴンソウが減るかこれから見守っていきたいと思います。



掘り起こしたオオハンゴンソウ

令和6年度第2回白神山地世界遺産地域合同パトロールを開催

令和6年8月31日(土)に白神山地世界遺産地域合同パトロールが西目屋村ブナ林散策道コースと高倉森コース、深浦町の白神岳コースで行われました。当日は、あいにくの天気、朝から非常に強い雨が降り、高倉森コースと白神岳コースでは現地判断で中止としました。

ブナ林散策道コースについては、白神山地世界遺産地域巡視員、弘前警察署、津軽白神森林生態系保全センター、途中合流した高倉森コース予定だった津軽森林管理署、東北森林管理局の他、また、白神山地に興味を持つ人材の育成と巡視員の後継者確保に向けた新たな取り組みとして試行的に募集した「一日ボランティア巡視員」の学生1名(弘前大学農学生命科学部2年生)、計14名で実施しました。ブナ林散策道コース入口で団体観光客等にパンフレットを配りながらマナーの普及啓発を行いました。



雨の中でチラシ配りを実施

さらに、パンフレット配布終了後ブナ林散策道小回りコースの巡視を行いました。当日は大雨の影響で第1回目の合同パトロールより観光客の方々が少なかったのですが、訪れた観光客に「ブナ林散策道は雨で滑りやすくなっているので気を付けて散策して下さい」と声掛けすると、みなさんからありがとうございますと答えていただきました。



ブナ林散策道を巡視中

これから、紅葉シーズンを迎えることで入山者がたくさん訪れる時期になることから、白神山地世界遺産地域に入山される際は、入山マナーを守りながら白神山地の森林を実感して、楽しく心に残る思い出づくりをしていただければ幸いです。